

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている				
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・例年であれば冬物バーゲンが一段落し春物の動きは鈍い時期だが、今年は依然として冬物が動き、春物も入荷が遅れるものの動きは良い状況である。また、ここ数年続く単品での購入からまとめて購入する客が増加している。	
		百貨店（購買担 当）	お客様の様子	・比較的暖かい日が続いたことから、コート、ジャケット等を中心に春物が順調に推移している。また、開催した物産展は客の関心を集め来客数が増加している。	
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・著名なラグジュアリーアイテムや絵画等の美術品の売上が伸びており景況はやや良い状況である。	
		百貨店（営業企 画担当）	お客様の様子	・催事での客の動きは前年とはやや異なっており、来客数が4か月連続前年を上回っていることも明るい兆しである。	
		スーパー（店 長）	単価の動き	・1年以上客単価、売上点数が前年を下回っていたが、ここ3か月は前年比で単価が101%、累計が102%とやや持ち直している。	
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・高品質、高単価な商品の購入やまとめ買いをする客が増加しており、客単価が上昇している。	
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・2月の厳しい寒さの影響で食料品の販売が好調である。食料品と青果物の価格が高値で安定しており、青果物の落ち込みを他の商品でカバーし売上を維持している。また、一般食品、デイリー商品の売上が上向き傾向にある。	
		コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・来客数は前年を少し下回っているが客単価が上昇しており、売上は前年比を上回っている。	
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・2月から春のキャンペーンを実施しており、CMを含めキャンペーンの効果で売上は昨年を大幅に上回っている。	
		衣料品専門店 （店長）	それ以外	・1月は例年になく大雪で外出を控える客が多くいたが、2月は節分以降暖かくなり、外出して買物をする人が増加している。	
		乗用車販売店 （副店長）	来客数の動き	・新規来客数は前年に比べ1月が90%程度、2月が100%程度と回復傾向にある。ただし、前年実績の水準が低いため前年並みに回復しても決して良くはない状況であり、景気が良いとまではいえない。	
		その他専門店 〔海産物〕（経 営者）	来客数の動き	・観光業のため3か月前の需要の多い時期との比較はできないが、前年同期と比べ確実に来客数が増加している。	
		その他専門店 〔和菓子〕（営 業担当）	販売量の動き	・例年より卒業旅行で訪れる観光客が多く、出足も早くなっている。	
	変わらない		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・大雪、厳寒等の天候異変の時期を過ぎ、いつもの来客数が確保できるようになってきている。このところの消費手控えも一服感があり、通年より早い新年度需要の客が出てきている。
			一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・歓送迎会の販売促進活動を行っており予約が早く入っている。
			その他飲食 〔サービスエリ ア内レストラン〕 （支配人）	来客数の動き	・好天に恵まれている影響もあり、バスを利用した団体、自家用車を利用した個人ともに増加している。
		通信会社（広報 担当）	販売量の動き	・2月の販売状況は新規、純増ともに順調に推移している。ただしナンバーポータビリティが引き続き厳しい状況にあり、対策を検討しているところである。	
		テーマパーク （業務担当）	来客数の動き	・月の前半は低温と降雪による出控えがみられたが、報道の効果もあり後半にかけて前年以上の来園者数を確保し、全体としては例年並みで推移している。	
	設計事務所（経 営者）	来客数の動き	・1年以上戸建て住宅の引き合いが全くなかったが、2月に入り複数の引き合いや問い合わせがきている。		
	商店街（代表 者）	来客数の動き	・来客数、売上額、商店街の人通り等をみても減少傾向である。		
	商店街（代表 者）	単価の動き	・当店ではデフレ傾向が継続しているが、デパート業界では高額商品が少しずつ回復基調にあるという情報があり、明るい流れが専門店まで波及することを期待している。		

商店街（代表者）	お客様の様子	・ 2月前半は寒さが厳しく人の出足が少なかったが後半は暖かくなって持ち直している。
商店街（代表者）	来客数の動き	・ 来客数の多い日、少ない日がまちまちで売上の把握が困難である。
一般小売店 〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・ 2月は前年実績を上回ったが、1月の雪害の影響を相殺するまでには至っておらず厳しい状態が続いている。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・ 1月のまれにみる大雪の影響で、来客数は大幅に減少するとともに、冬セールはもとより、従来であれば動き出す春物にも大きく影響が出ている。景気の良し悪しの判断には直結しないが、天候異常により店頭商況は大きく悪化している。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ 2月はセール催事が安定した売上につながっており、決算前の底値の商品は需要が増加するが、定価商品の購入については相変わらず慎重で、待てば安くなるといったデフレ心理の傾向が店頭で顕著に出ている。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・ ギフト解体セールや物産展など食に関する催事について客の反応は良好で売上も順調だが、通常の身の回り品や衣料等のソフト部門商材は依然として厳しい状況である。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・ 冬物最終セールは前年を大きく上回ったものの、春物定価品の動きは鈍く、客の堅実な購買姿勢が依然として続いている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・ 身の回りに変化がない。
衣料品専門店 （地域ブロック長）	単価の動き	・ 2、3月はフレッシュマンの必需品として衣料品の需要があり、来客数、客単価ともに昨年並みである。
乗用車販売店 （経営者）	来客数の動き	・ 毎週末催し物を実施しているが、来客数や客の動きが鈍く販売に結びつく商談には特に時間を要する状況となっており、低価格志向が一段と強くなっていることがうかがえる。
乗用車販売店 （統括）	販売量の動き	・ 昨年10月から今年1月にかけての登録状況は前年比90%となっており、エコカー購入補助金制度の終了後は前年割れが続いている。
自動車備品販売店 （経営企画担当）	販売量の動き	・ 月前半は降雪もあり冬用タイヤを中心に動きがあったが、その他は前期実績を下回る状況となっている。特にナビゲーションの動きが悪く、低価格帯商品の動きだけで単価の低下を招いている。
その他専門店 〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・ 寒さの厳しさは2月中旬まで続き、来客数が少なかった。後半に入り気温が上昇したため多少来客数が増加したが、前半の売上の落込みを取り戻せていない。
一般レストラン （店長）	単価の動き	・ ランチの値下げを行い来客数は増加したが、客単価の大幅低下で売上は横ばいである。
都市型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・ 1月の雪害以降ビジネス客を中心に宿泊客数は減少傾向だが、宴会・婚礼などの来客数は増加しており、店舗全体の来客数は前年並みとなっている。
都市型ホテル （支配人）	販売量の動き	・ 景気が好転する材料がない。また、シーズン商戦に乗り遅れ準備が不十分である。
都市型ホテル （従業員）	来客数の動き	・ 積雪など悪天候の影響もあり、宿泊、レストランの動きが悪くなっている。
都市型ホテル （スタッフ）	お客様の様子	・ 宿泊客数は増加しているが、客単価が低下している。少し値段の高いお得なプランよりシンプルで低価格のプランを好む客が依然として多い。
タクシー運転手	来客数の動き	・ 2月に入り客単価の低下で売上も減少している。また、寒さの影響で夜間の利用者が大幅に減少している。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・ 売上や地域での雇用の話題で、景気が上向く話が全く出ない。
テーマパーク （管理担当）	来客数の動き	・ 来館者数の動向に変化がみられない。
ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・ 気候も安定し暖かくなってきたことから、予約は増加してはいるが前年同月と比べると動きが悪くなっている。
美容室（経営者）	単価の動き	・ 今年になり客単価が100～200円程度上がってきている。また、12、1月の売上は前年を上回っている。
美容室（経営者）	単価の動き	・ 付加的なサービスを加える新しいメニューの提案を行っているが、売上にはなかなか結び付いていない。

	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・収入の不安定な時期が少し過ぎ、悪いなりに安定してきたため、消費に前向きな意識が出始めている。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・短期的に景気動向が変化する気配は全くなく、低下が継続する期間や底の存在について予測は困難である。当地域の企業の90%が実質赤字で厳しい状況にある。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客は先行き不透明感をはっきり口にし、今後の長期間ローンの返済不安を懸念している。
	住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・販売イベントの来場者に大きな変化はないが、コスト意識は高くお得感を求めて物件を物色している。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・年明けの豪雪等天候が良くなかったため景気はやや悪くなっており、今後も当分上向かない。
	商店街（理事）	それ以外	・商店街で空き店舗が増えており閑散とした状況のなかで、客は買物を控える雰囲気包まれている。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・2月は年間を通して動きのない月だが、例年以上に会社関係の注文が減少しており売上も減少している。
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・月前半は寒さも影響し街中の人の往来は少なかったが、客の節約志向が強く1、2月は特に飲食店が厳しい状況で酒類注文量が減少している。なお、当市は県下で人口減少率が最も高かったこともあり、商圏の人口減少や高齢化に歯止めがかかるまでは、景気が上向くのは厳しい状況である。
	一般小売店〔紙類〕（経営者）	お客様の様子	・来店する客の多くは観光客だが、店を通過する客が多く売上が伸び悩んでいる。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・昨年10月から前年同月比が100%を上回り、景気が少し上向いてきたと感じたが、1月は横ばい、2月は100%を下回る状況である。好調に伸びているテナントもあり全体が悪いというわけではないが、10～12月ごろの勢いは感じられない。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価が以前に比べ少しずつ低下している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・客は必要以上に商品を購入することがなく、売上が伸び悩んでいる。
	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・来客数は前年の状況に戻りつつあるが客単価が大幅に低下しており、売上の拡大が図れていない。安いからといって売上数量が増加しない状況である。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・来客数が昨年に比べ安定していない。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・エコポイント制度変更の影響で商品の動きが鈍い。
	その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・月の前半は寒波の影響で厳しかったが、後半は暖かくなり春物を求める客が若干増加している。
	観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・2月は宿泊部門が好調であったが、料飲・婚礼部門が苦戦している。ここ数年来、多くの集客を獲得できていたレストランのフェアも、寒波による積雪などの影響で大幅な減少になっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・車の運行回数が減少しており客単価も伸び悩んでいるため、1日当たりの売上が5%程度減少している。
	タクシー運転手	販売量の動き	・1、2月の総売上は約10%の運賃値上げを実施した昨年並みである。ドライバー個人の売上は減車や減員の効果で6～7%の伸びを維持している。
	テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・年末年始の大雪の影響がいまだに残っている。遠方からの客にとっては風評被害のような形で豪雪のイメージが残っている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・客や同業者の会合では、商店街にあったファーストフード店の撤退や安い店への客の移行などの話題が多く、景気の悪い状況がうかがえる。	
設計事務所（経営者）	それ以外	・官民とも建築設計に対し新築物件が出てこない。	
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・エコポイント制度変更の反動で客の消費控えが著しく、昨年同月の厳しい売上を下回っている。
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	販売量の動き	・料飲店を巡っても空席が多く、開店休業状態の店も多くあり、今月の販売量は大幅な落ち込みとなっている。
	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・同業他社のディスカウント店への業態変更により、低価格競争が続いており来客数も前年を下回っている。

		住関連専門店 (広告企画担当)	単価の動き	・客が家具に金を使わなくなっている。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・景気の回復傾向が全くみえず、客も旅行に消費する方向に目が向いていない。3月12日に九州新幹線が開通するが、出費にゆとりがうかがえない。
企業動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・昨年末からの売上が好調に推移している。
		通信業(営業企画担当)	取引先の様子	・製造業を中心に、新年度の設備投資に関する具体的な計画に基づく引き合いや受注が増加傾向にある。
		不動産業(総務担当)	それ以外	・来客数、成約件数が増加しておりやや良い状況にある。
	会計事務所(職員)	取引先の様子	・製造業の動きが良くなっている。3月までは受注で手一杯という所も有り、前年同月よりも売上高は上がる見込みが増えている。ただ、建設業関連の状況は厳しい。	
変わらない		木材木製品製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・回復基調ではあるが、水準の低い状況が継続している。
		化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・円高と原油燃料高の影響で、利益が出ない状況が継続している。
		窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・一部の加工品での他社品のトラブルで、当社品使用が100%となり、この部門は非常に多忙となっているが、その他の部門は大きな工事案件がなく受注は低迷している。ゆとりのある部門から多忙部門への作業応援で対応している。
		非鉄金属製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・特段の動きはみられない。
		金属製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は生産能力の60%程度で厳しい状況に変わりはない。受注量増加を見込んでいたが、予想に反しこれまでと同量の低水準にとどまっている。
		一般機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・自社製品の売上は海外向けは回復傾向にあるものの、国内向けは依然として伸び悩んでおり厳しい状況である。
		電気機械器具製造業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・受注単価の上下動の波が激しく安定しない。特に材料等の高騰により、一括見込み購入の在庫の増加が利益を圧迫し始めている。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注は2~3か月前と変わらず推移している。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・建設業や建設関連においては、根本的に仕事量が少なく価格も下がっており、依然として厳しい状況が継続している。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注総額は月間目標を維持しているが、利益率は明らかに低下している。
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・年度末を控え例年は駆け込み需要がみられるが、既存顧客が中心で新規顧客は伸び悩んでいる。
		金融業(自動車担当)	取引先の様子	・中国を中心とした新興国の需要は好調だが、欧州や北米の需要が伸び悩んでおり、全体では生産高がやや減少気味で利益はほぼ横ばいの状態である。
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・複数の取引先について業況を月次で確認し、経営者と直接事業環境について話合う機会があるが、足元の状況を楽観視する発言はほとんど聞かれない。実際、経営数値においても、前年比で横ばい或いはやや下回るといった企業が多く、地元を支える中小事業者にとって3か月前との比較で景気が回復傾向にあるとは到底言えない状況である。
やや悪く なっている		食料品製造業(業務担当)	競争相手の様子	・先日ある入札があり、中小企業である当社が利益なしの価格で入れたにもかかわらず大手が原価割れしていると思われる価格で入札した。売上を守るためには、どこまでも下げてくる感じである。
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先の生産計画が当初に比べ下方修正となっている。
		輸送用機械器具製造業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・値引きの打診が入ってきている。
		輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・顧客からの発注内示から確定受注になる際の量が減少してきている。

		輸送業（統括）	受注量や販売量の動き	・3か月前は年末の駆け込み需要もあり売上が確保できたが、今月はどの顧客も売上が伸びず昨年との比較では半減となっている。
		輸送業（運送担当）	取引先の様子	・運送会社の地元営業所が今月で撤退するため、発送量が減少している。
	悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・1月の状況を3か月前の10月と比較すると、水揚数量は875トン、水揚金額も2億9,600万円の減少である。水揚数量の減少理由は沖合底引き網、大中型巻き網、イカ釣舟、定置網の減少で、水揚金額の減少理由は沖合底引き網、イカ釣舟、定置網が減少したためである。前年同月と比較すると、水揚数量で186トン、前年同月比109.2%の増加、水揚金額は3,480万、前年同月比91.8%の減少である。水揚数量の増加理由は大中型巻き網、イカ釣舟が増加したためであり、水揚金額の減少理由は沖合底引き網が減少したためである。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	取引先の様子	・当社は中国から部品調達しているが、昨今中国の急成長に伴う物価や賃金の上昇により、仕入価格が上昇し続け非常に厳しい状況が続いていた。折しも同時期に中国政府から賃金の10～20%アップの通達が届き、調整は行っているものの再度の大幅アップは不可避となっている。
雇用関連	良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・非製造業であるサービス等で、カタログ通信販売の利用客が増加することへの対応から、求人意欲の高まりがみられる。医療、福祉の看護、介護職の人手不足感がある。
	やや良くなっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・人材派遣の事務系求人が増加しており、人材紹介の求人数も増加している。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・有料職業紹介では、求人者、求職者とも動きが活発である。人材派遣についても、年度末に向けた繁忙対応としての需要を中心に緩やかではあるが依頼数が回復してきている。
		求人情報誌製作会社（支社長）	求人数の動き	・原油高の影響は不透明だが、メーカーを中心に求人数は伸びており景気はやや良くなっている。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・3か月前に比べ求人企業が増加するとともに、求人広告も少しずつ問い合わせが増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は大雪による観光、消費手控えがあった観光土産品の菓子製造業、エコポイント制度変更の影響があったハードウェア製造業等の減少が目立った他は、全般的に増加傾向となり、有効求人倍率も4か月連続で前月を上回っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・1月の新規求人数は前年同月比0.1%の増加、前月比14.0%の増加となっている。また、管内大手化学メーカーが業績好調で、その下請企業や化学製品輸送関係の求人が活発である。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・新規求人の依頼が増加しており、補充より増員を背景としたものが多くなっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人数に関しては依然として上向き傾向であるが、求職者の動きが鈍くなっていることから、求人・求職者の差異が考えられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・新卒者の就職率100%を誇っていた地元の私立高校が、近年では初めて100%を下回る見通しとなっている。地場企業の景気低迷、特に地場中小、零細企業の景気悪化が影響していると関係者では話をしている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求職者数の動き	・2012年の新卒者の採用が始まっているが出だしは厳しいという話が学生から出ている。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・鉄鋼業や製造業に回復傾向がみられるが、中東問題で原油価格高騰懸念があり雇用に影響が出る。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-